SONY®

4-429-665-**02**(1)

デジタル
スチルカメラ

取扱説明書

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

DSC-RX100

⚠警告 安全のために

→ *100 ～ 103ページもあわせてお読みください。*

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら

➡

❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ ソニーの相談窓口に連絡する

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。

❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。

❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

メモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、メモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i対応機です。
- 本機は、1080 60pの動画に対応しています。1080 60pとは、従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するのとは異なり、プログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 長時間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット]（83ページ）を行ってください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください（96ページ）。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。

• 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
• 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
• 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
• 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(96ページ)。
• 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
• フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布等で清掃してください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。

本機用に生産されたレンズは、ドイツカール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

モニターおよびレンズについてのご注意

• モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
• モニターに水滴などがついてぬれてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置するとモニターの表面が変質したり劣化して故障の原因になります。
• バッテリー残量がなくなると、レンズが出たまま動きが止まることがあります。充電されたバッテリーを取り付けて、再度電源を入れてください。

フラッシュについて

• フラッシュ部を持ったり、無理な力を加えないでください。
• 開いたフラッシュ部に水滴や砂埃が入ると故障の原因になります。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなりますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 "Design rule for Camera File system"（DCF）に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

AVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

AVCHD動画をパソコンに取り込むときは、Windowsの場合は本機に搭載されているソフトウェア「PlayMemories Home」、Macの場合はMacにバンドルされているソフトウェア「iMovie」を使用してください。

他機での動画再生に際してのご注意

- 本機は、AVCHD方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格非対応の機器

  また、本機は、MP4方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のMain Profileを採用しております。このため、本機でMP4方式で記録した動画はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。
- ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。

  DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質（HD）のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。
- 1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

目次

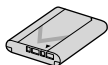
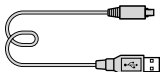
カメラの設定を変える …… 73

その他 …… 85

付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

（　）内の数字は個数です。

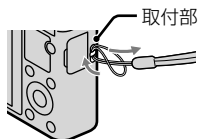
- リチャージャブルバッテリーパックNP-BX1 ....（1）

- マイクロUSBケーブル...........（1）

- ACアダプター AC-UD11.....（1）

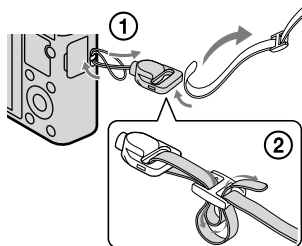
- リストストラップ....................（1）

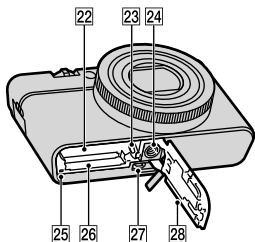
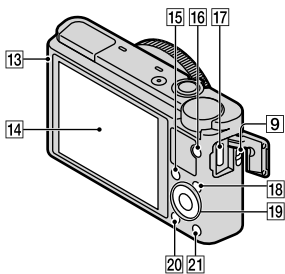
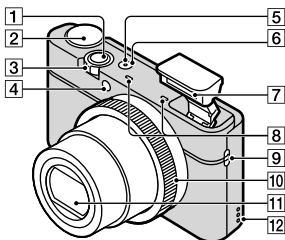
- ストラップアダプター...........（2）

- 取扱説明書（本書）....................（1）
- 保証書 ....（1）

リストストラップを使う

落下防止のため、ストラップを取り付け、手を通してご使用ください。

ショルダーストラップ（別売）を使う

①ストラップアダプターをカメラのストラップ取り付け部（2箇所）にそれぞれ取り付ける。
②ストラップアダプターにショルダーストラップ（別売）を取り付ける。

準備する

各部の名前を確認する

1 シャッターボタン
2 モードダイヤル
3 撮影時：W/T（ズーム）レバー
再生時：インデックス/
再生ズームレバー
4 セルフタイマーランプ/
スマイルシャッターランプ/
AF補助光
5 電源/充電ランプ
6 ON（オン）/OFF（オフ）（電源）ボタン
7 フラッシュ
- フラッシュの近くに指を置かないでください。
- フラッシュが発光するときは、フラッシュ部が自動で上がります。使わないときは手で押して元に戻してください。

8 マイク
9 ストラップ取り付け部
10 コントロールリング
11 レンズ
12 スピーカー
13 明るさセンサー
14 液晶モニター
15 Fn（ファンクション）ボタン
16 MOVIE（ムービー）（動画）ボタン
17 マイクロUSB端子
18 MENU（メニュー）ボタン
19 コントロールホイール
（11ページ）
20 ▶（再生）ボタン
21 ?/🗑（カメラ内ガイド/削除）
ボタン
22 バッテリー挿入口
23 取りはずしつまみ

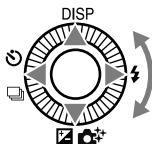
24 三脚用ネジ穴
- ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使う。5.5mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

25 アクセスランプ

26 メモリーカード挿入口

27 HDMIマイクロ端子

28 バッテリー /メモリーカードカバー

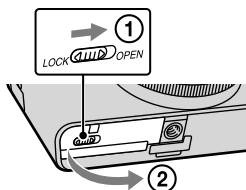
コントロールホイールの使いかた

- コントロールホイールの上下左右には下記の機能が割り当てられています。また、左右ボタンにはお好みの機能を割り当てることができます。(81ページ)

DISP	画面表示切換(DISP)(49ページ)
	フラッシュモード(46ページ)
/	露出補正(50ページ)/マイフォトスタイル(50ページ)
/	ドライブモード(48ページ)

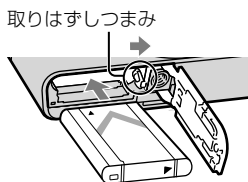
- コントロールホイールを回したり上下左右を押したりすると、選択枠を動かすことができます。本書ではコントロールホイールの上下左右を押す動作を▲/▼/◀/▶で表現しています。
- 再生時に、コントロールホイールの◀/▶を押す、またはホイールを回すことで再生画面を送ることができます(29ページ)。

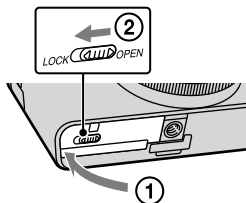
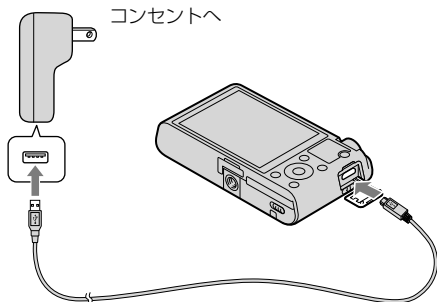
バッテリー充電と使用可能枚数・時間

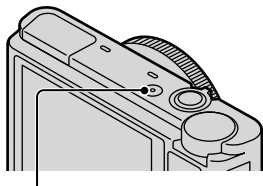
初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。
充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

1 カバーを開ける。

2 バッテリーを入れる。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみを押しながら入れます。
  取りはずしつまみがロックされるまで押し込みます。

取りはずしつまみ

3 カバーを閉じる。

- 正しく挿入しないままカバーを閉めると、破損のおそれがあります。

4 本機とACアダプター(付属)をマイクロUSBケーブル(付属)でつなぎ、ACアダプターをコンセントに取り付ける。

カメラの電源/充電ランプがオレンジ色に点灯し、充電が始まる。

- 充電中は本機の電源を切った状態にしておいてください。
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- 電源/充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーを取りはずし、再度装着してください。

電源/充電ランプ
点灯：充電中
消灯：充電終了
点滅：充電エラー、または温度が適切な範囲にないための充電一時待機

ご注意

- ACアダプターをコンセントにつないでもカメラの電源/充電ランプが点滅する場合は、充電に適した温度範囲外にあるため一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電可能です。バッテリーの充電は周囲の温度が10℃～ 30℃の環境で行ってください。
- バッテリーの端子が汚れていると正しく充電できない場合があります。バッテリーの端子を乾いた布または綿棒などで拭いてください。
- 付属のACアダプターを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。

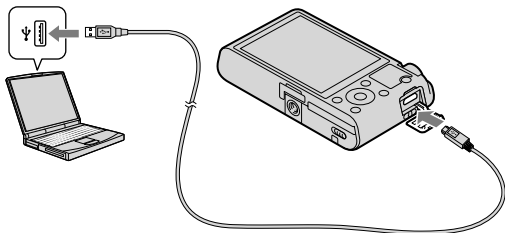
充電にかかる時間（満充電）

充電にかかる時間は、付属のACアダプターで約155分です。

ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。

ご注意

- パソコンから充電するときは、以下の点にもご注意ください。
  - 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間充電しないでください。
  - 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
  - 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約165分	約330枚
静止画再生	約250分	約5000枚
動画撮影	約80分	—

ご注意

- 撮影枚数は満充電された状態での目安の枚数です。使用方法で枚数は減少する場合があります。
- 撮影可能枚数は、以下の条件で撮影した場合です。
  - 当社製の"メモリースティック PRO デュオ"（Mark2）（別売）を使用
  - 温度25℃の環境
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。（CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
  - DISP：[全情報表示]
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする。
  - 2回に一度、フラッシュを発光する。
  - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、以下の条件で撮影した場合です。
  - 記録設定：60i 17M(FH)
  - 連続撮影の制限（29分）により撮影が終了したときは、再度MOVIE（動画）ボタンを押して撮影を続ける。ズームなどその他の操作はしない。

バッテリーの残量を確認する

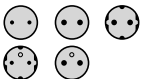
モニター上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

多 → なし

ご注意

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- 電源を入れたまま一定時間操作しないと、自動で電源が切れます(オートパワーオフ)。

バッテリーについて

バッテリーの消費や使用可能時間については、93、97ページでも詳しく説明しています。

電力を供給する

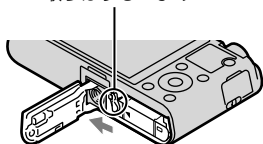
マイクロUSBケーブル(付属)では、ACアダプター(付属)と接続してコンセントから電力の供給ができます。長時間の撮影や、テレビやパソコンに接続するときでもバッテリーの消費を気にせずに使用できます。また、バッテリーが本機に入っていない場合でも、撮影・再生が可能です。

海外でも使えます

ACアダプター（付属)は全世界で使用できます(AC100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz)。ただし、地域によってはコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。

電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使用できません。故障の原因になります。

コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

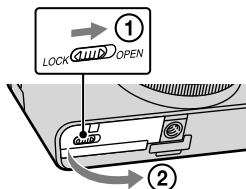
バッテリーを取り出す

取りはずしつまみをずらす。バッテリーが落下しないように注意する。

ご注意

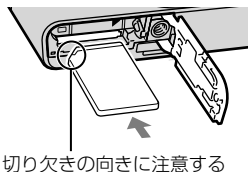
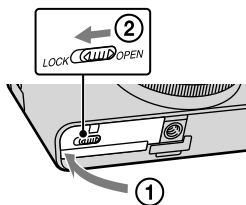
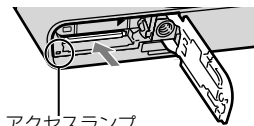
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

メモリーカード(別売)を入れる

本機で使用できるメモリーカードは、"メモリースティック デュオ"とSDカードです。詳しくは85 ~ 86ページをご覧ください。

1 カバーを開ける。

2 メモリーカード(別売)を入れる。

- 切り欠き部をイラストの向きにして、カチッというまで押し込みます。

切り欠きの向きに注意する

3 カバーを閉じる。

メモリーカードを取り出す

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。

ご注意

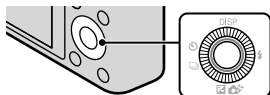
- アクセスランプ点灯中は、メモリーカード/バッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

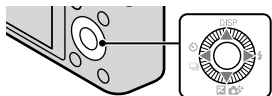
日時を設定する

1 ON/OFF（電源）ボタンを押す。

電源が入る。

- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがあります。

2 [実行]が選ばれていることを確認し、コントロールホイール中央の●を押す。

3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、中央の●を押す。

4 コントロールホイールの◀/▶を押す、またはホイールを回して設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定する。

[サマータイム:]：日本では、サマータイムは[切]にする。

[表示形式:]：日付表示順を選ぶ。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

5 手順4を繰り返して、すべて設定し、中央の●を押す。

6 [実行]が選ばれていることを確認し、中央の●を押す。

日付と時刻を合わせ直す

はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENUボタンを押して、1 → [日時設定]を選び、日時設定画面を開いてください。

パソコンに「PlayMemories Home」をインストールする

本機に内蔵されているソフトウェア「PlayMemories Home」を使うと、次のことなどができます。

- 撮影日ごとにカレンダー上に整理して閲覧
- 画像の切り抜き（トリミング）、サイズ変更（リサイズ）
- 赤目補正などの静止画補正、撮影日時の変更
- プリント、メール送信
- 画像に日付を挿入

拡張機能をインストールすると、AVCHD動画をディスクに保存するなど、さらに多くの機能を使えるようになります。
「PlayMemories Home」をインストールしなくても本機での撮影・再生などの操作は可能ですが、AVCHD動画をパソコンに取り込む場合は「PlayMemories Home」が必要です。

---

1 パソコンの推奨環境を確認する。

OS（工場出荷時にインストールされていること）：

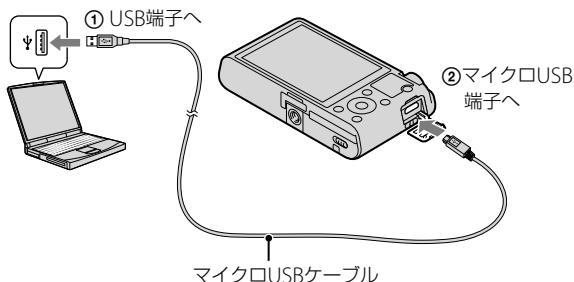
Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1（「PlayMemories Home」はWindows専用です）

CPU：

Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上

HD動画再生・編集時は、Intel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.66 GHz以上、Intel Core 2 Duo 2.26 GHz以上（AVC HD（FX/FH））、Intel Core 2 Duo 2.40 GHz以上（AVC HD（PS））

* 64bit版は除きます。「拡張機能」をインストールしてディスク作成機能をご使用の場合、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0 以上が必要です。

2 本機とパソコンの電源を入れ、マイクロUSBケーブル(付属)で接続する。

Windows 7：デバイスステージが表示される。

3 Windows 7: デバイスステージ上で「PlayMemories Home」を選ぶ。Windows XP/Windows Vista: [コンピュータ](Windows XPでは[マイコンピュータ] → [PMHOME] → 「PMHOME.EXE」をダブルクリックする。

4 モニターの指示に従ってインストールを進める。

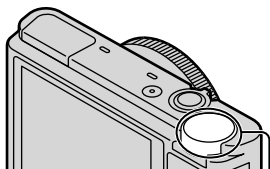
インストール完了後、「PlayMemories Home（Lite版）」が起動する。

- 「拡張機能」のインストール案内が表示されます。引き続きモニターの指示に従ってインストールしてください。
- 「拡張機能」のインストールにはインターネットに接続する必要があります。初回起動時にインストールしなかった場合は、「拡張機能」でしか使えない機能をクリックしたときにインストールの案内が表示されます。
- 「PlayMemories Home」について詳しくは、66ページをご覧ください。

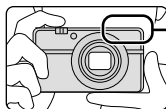
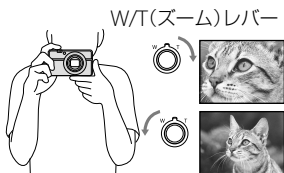
ご注意

- パソコンにはコンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- MENU → 🔧2 → [USB LUN設定]を[マルチ]にしてください。
- Windows 7使用時に、デバイスステージが起動しないときは、[コンピュータ]をクリックし、カメラアイコン → メディアアイコン → 「PMHOME.EXE」をダブルクリックしてください。
- すでに「PlayMemories Home」がインストールされている場合でも、本機をパソコンに接続して「PlayMemories Home」に登録してください。使用できる機能が有効になります。
- 「PlayMemories Home」は、Macには対応していません。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。Macのご利用については68ページをご覧ください。
- 2011年以前の機種に付属のソフトウェア「PMB」(Picture Motion Browser)がインストールされている場合、「PlayMemories Home」が上書きインストールされます。「PMB」の機能で使えていた機能の一部はご使用いただけなくなります。

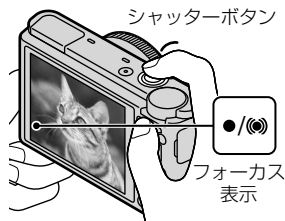
撮る（静止画）

1 モードダイヤルを i（おまかせオート）にする。

モードダイヤル

2 脇を締めて構え、構図を決める。

- W/T（ズーム）レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻ります。大きくズームしたい場合は、33ページをご覧ください。
- レンズに指がかからないようにしてください。
- フラッシュの上に指を置かないでください。

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

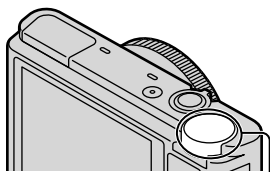
ピントが合うと「ピピッ」という音がして●または (◉) が点灯する。

- フラッシュが発光するときは、フラッシュ部が自動で上がります。
- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約5 cm、T側約55 cmです。
- 本機では状況に応じて、自動でマクロ撮影になります。

4 シャッターボタンを深く押し込む。

- [オートポートレートフレーミング]が[オート]の場合、人物の顔を検出して撮影すると、自動的に最適な構図に切り出し(トリミング)した画像が記録されます。トリミング前の画像と、トリミングされた画像の2枚が記録されます。

撮る（動画）

1 モードダイヤルを i🔲（おまかせオート）にする。

- シャッタースピードや絞りを希望の値に設定したいときは、モードダイヤルを 🎞（動画）にします。

2 MOVIE（動画）ボタンを押して、撮影を開始する。

- W/T（ズーム）レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻ります。

3 もう一度MOVIEボタンを押して、終了する。

ご注意

- 動画記録中にズームなどの操作をすると、カメラの動作音や操作音が記録されます。また、動画終了時、MOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
- 連続撮影可能時間は約25℃で出荷時設定の場合、1回につき約29分です。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影を再開できます。撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります（5ページ）。

MOVIEボタンについて

モードダイヤルがどこに設定されていても、MOVIEボタンを押せば動画撮影が可能です。

記録方式を変更する

MENU → 1 → [記録方式]を選ぶ(79ページ)。

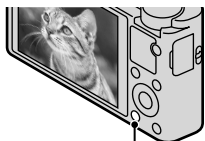
動画を撮りながら静止画を撮る(デュアル記録)

動画撮影中にシャッターボタンを押すと、動画撮影を中断することなく静止画も撮影できます。

ご注意

- [記録設定]が[60p 28M (PS)]の場合は、デュアル記録はできません。
- シャッターボタンの操作音が記録されることがあります。
- 静止画の画像サイズは MENU → 1 → [画像サイズ(デュアル記録)]で選べます。
- スマイルシャッターが設定されているときは、笑顔を感知すると自動でシャッターが切れます。
- デュアル記録時のフラッシュ撮影はできません。

見る

1 ▶（再生）ボタンを押す。

次の画像/前の画像を選ぶ

コントロールホイールの▶（次）/◀（前）を押す、またはホイールを回して選ぶ。

- 動画を再生するには、コントロールホイール中央の●を押してください（62ページ）。
- 拡大するには、W/T（ズーム）レバーをT側に動かしてください。

削除する

① ?/🗑（削除）ボタンを押す。
② コントロールホイールの▲で[削除]を選び中央の●を押す。

回転する

Fn（ファンクション）ボタンを押す。

撮影に戻る

▶（再生）ボタンを押す。

- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻ります。

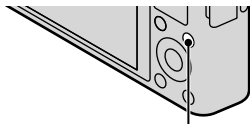
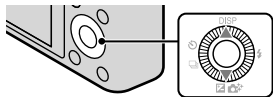
電源を切る

ON/OFF（電源）ボタンを押す。

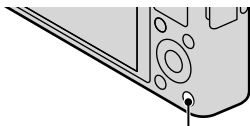
ガイドを見る

カメラ内ガイド

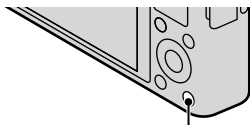
MENUの機能や設定に関する説明を表示します。

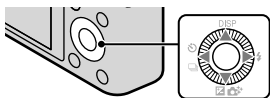
1 MENUボタンを押す。

2 コントロールホイールの▲/▼で説明を見たい項目で選ぶ。

3 ?/🗑（カメラ内ガイド）ボタンを押す。

手順2で選んだ項目の説明が表示される。

調べる

撮影アドバイス

選んでいる撮影モードに応じたアドバイスを表示します。

1 撮影画面で ?/🗑（カメラ内ガイド）ボタンを押す。

?/🗑（カメラ内ガイド）ボタン

2 コントロールホイールの▲/▼で見たい撮影アドバイスを選び、中央の●を押す。

撮影アドバイスが表示される。

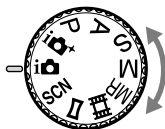
- ▲/▼で画面をスクロールできます。
- ◀/▶で項目を変更できます。

撮影アドバイスを全部見るには

- MENU → 📷 5 → [撮影アドバイス一覧] ですべての撮影アドバイスを表示することができます。以前に見た撮影アドバイスをもう一度見たいときに使います。

静止画の撮影モードを変える

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、モードダイヤルで撮影モードを設定します。

1 モードダイヤルを回してお好みのモードを選ぶ。

カメラまかせで自動撮影する

露出（シャッタースピードと絞り）など、多くの機能が自動で設定されます。

i（おまかせオート）	カメラまかせでシーンとコンディションを認識し、自動設定で撮影する。
i+（プレミアムおまかせオート）	カメラまかせでシーンとコンディションを認識し、暗いシーンなどで自動で複数枚撮影して、重ね合わせ処理できれいに撮影する。 • 重ね合わせ処理には、若干の時間がかかります。
SCN（シーンセレクション）	撮影条件に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。

好みの設定で撮影する

MENUで多彩な機能を設定できます。

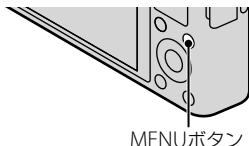
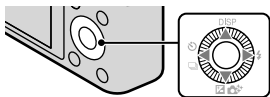
P（プログラムオート）	露出（シャッタースピードと絞り）は自動設定される。MENUで多彩な機能を設定できる。
A（絞り優先）	背景をぼかしたいときなど、絞り値を設定して撮影する。
S（シャッタースピード優先）	動きの速いものを撮るときなど、シャッタースピードを設定して撮影する。
M（マニュアル露出）	シャッタースピードと絞りを手動で設定して、好みの露出で撮影できる。
MR（登録呼び出し）	あらかじめ登録しておいた、よく使うモードやカメラの設定を呼び出して撮影できる。

その他

(動画)	動画撮影に関するモードの変更ができる。
(スイング撮影)	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。

より大きくズームする

[全画素超解像ズーム]を[入]に設定すると、光学ズームを超えても、ほとんど劣化しない静止画を撮影できます。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールホイールの◀/▶で 4 を選ぶ。

3 ▲/▼で[全画素超解像ズーム] → [入] → 中央の●を押す。

最大倍率までズームするには

本機は光学3.6倍までズームします。

最大画像サイズ以外に設定した場合は、画質が劣化しない範囲で光学倍率を超えてズームします。

さらに、MENU → 4 → [デジタルズーム] → [入]に設定すると、最大54倍までズームできます(VGA時)。ただし、ズーム倍率によっては画質が劣化します。

撮影に便利な機能を使う

ズーム倍率

画像サイズによって、ズームできる倍率は変わります。

[横縦比]が[3:2]のとき

画像サイズ	画質が劣化しない範囲のズーム	[全画素超解像ズーム]を[入]にしてズーム
L:20M	3.6倍（光学ズームのみ）	7.2倍
M:10M	5.1倍	10倍
S:5.0M	7.2倍	14倍

状況を自動判別して撮る

モードダイヤルを（おまかせオート）、（プレミアムおまかせオート）にすると、カメラが自動でシーンを認識して最適な設定で撮影します。動画撮影中もシーンを認識します。

1 被写体にカメラを向ける。

認識されたシーンのマークとガイドがモニターに表示される。

上段：（人物）、（赤ちゃん）、（夜景＆人物）、（夜景）、（逆光&人物）、（逆光）、（風景）、（マクロ）、（スポットライト）、（低照度）

下段：（三脚）、（動き）、（歩き）

- （歩き）は、動画撮影時にMENU → 1 → [手ブレ補正]が[アクティブ]に設定されているときのみシーン認識します。

シーン認識マークとガイド（ガイドは上段のみ）

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、シャッターボタンを深く押し込んで撮影する。

オート撮影の特徴

プレミアムおまかせオートは、おまかせオートよりもさらに高画質で撮影し、必要に応じて重ね合わせ撮影を行います。
プログラムオートは、ホワイトバランスやISOなど多彩な機能の設定を変えて撮るときに使います。

撮影モード	こんなときに使う
iO（おまかせオート）	• カメラまかせでシーン認識をして、何枚も続けて撮影したいとき
iO+（プレミアムおまかせオート）	• 暗いシーンや逆光などの失敗しやすいシーンをきれいに撮影したいとき • iO（おまかせオート）よりも高画質な画像を撮影したいとき
P（プログラムオート）	• 露出（シャッタースピードと絞り）以外の多彩な撮影機能を自分で調整して撮影したいとき

ご注意

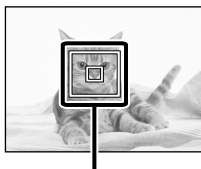
- ［おまかせオート］では、暗いシーンや逆光のシーンなどを美しく撮影できないことがあります。
- ［プレミアムおまかせオート］では、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。

被写体にピントを合わせ続けて撮る（追尾フォーカス）

被写体が動いても、自動でピントを合わせ続けます。

1 **被写体に本機を向け、コントロールホイール中央の●を押す。**

2 **ターゲット枠を追尾フォーカスする被写体に合わせて、中央の●を押す。**

- 追尾フォーカスを解除したいときは、もう一度中央の●を押します。

ターゲット枠

優先したい顔を登録する（選択顔記憶）

顔検出中に追尾フォーカスを行うと、優先したい顔を自分で選んで登録できます。顔を追尾しているときは、被写体がモニターから消えても、登録した顔が再びモニターに映った場合には登録した顔でピント合わせをします。

① 顔検出中に、コントロールホイール中央の●を押す。
ターゲット枠が表示される。

② 顔検出していた顔にターゲット枠を合わせて、中央の●を押す。
選択された顔が優先顔として登録され、二重枠表示に変わる。

③ 登録を解除したい場合は、もう一度中央の●を押す。

パノラマ画像を撮る

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。パノラマ画像はソフトウェア「PlayMemories Home」でも再生できます。

1 モードダイヤルを（スイング撮影）にする。

2 撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを押す。

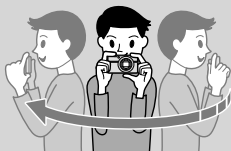
撮影されない部分

3 モニター上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす。

ガイド

ご注意

- 他機で記録されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

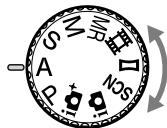
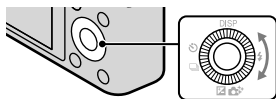
パノラマ撮影のポイント

体を軸に、一定の速度で小さな円を描くように、画面の矢印方向と平行に動かす（半周5秒が目安です）。

速すぎたり遅すぎたりするときは、モニターにメッセージが表示されます。実際の撮影の前にあらかじめ何度か練習しておくことをおすすめします。

- 被写体と背景との距離を充分にたもったり、屋外などの明るい場所で撮ることもポイントです。

背景のぼかし具合を調節して撮る（絞り優先）

レンズを通過する光量を手動で調節できます。

1 **モードダイヤルを A（絞り優先）にする。**

2 **コントロールホイールを回して、絞り値（F値）の設定値を選ぶ。**

- F1.8からF11の範囲で選びます。
- シャッタースピードは1/2000秒から8秒の間で自動調整されます。

3 **シャッターボタンを押す。**

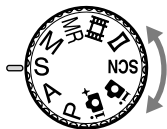
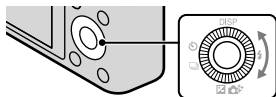
 絞りについて

F値を小さくする（絞りを開ける）と、ピントの合う範囲は前後に狭くなり、背景をぼかして、被写体をくっきりと表現できます。

F値を大きくする（絞りを閉じる）と、ピントの合う範囲は前後に広がり、風景の広がりを表現できます。

動くものの表現を変えて撮る（シャッタースピード優先）

シャッタースピードを手動で調節できます。

1 モードダイヤルをS（シャッタースピード優先）にする。

2 コントロールホイールを回して、シャッタースピードの設定値を選ぶ。

• 1/2000秒から30秒の範囲で選びます。

3 シャッターボタンを押す。

シャッタースピードについて

シャッタースピードを速くすると、走っている人や車、波しぶきなどの動きのあるものが止まって見えます。

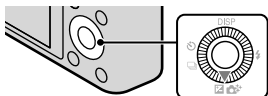
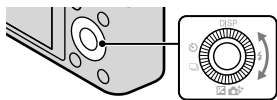
シャッタースピードを遅くすると、川の流れなどの軌跡が残り、より自然な流動感のある画像になります。

思い通りの露出で撮る(マニュアル露出)

シャッタースピードと絞り(F値)を調節して、好みの露出で撮影します。設定した露出は電源を切っても保持されるため、後でモードダイヤルをM(マニュアル露出)にしたときも同じ露出を再現できます。

1 モードダイヤルをM(マニュアル露出)にする。

2 コントロールホイールの▼を押して、設定する項目を選ぶ。

- 押すたびに設定できる項目が変わります。
- シャッタースピード、絞り(F値)を設定できます。

3 コントロールホイールを回して、設定値を選ぶ。

4 シャッターボタンを押す。

登録した設定を呼び出して撮影する

よく使うモードやカメラの設定を3つまで本機に登録でき、
MR(登録呼び出し)で呼び出せます。

設定を登録する

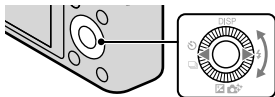
1 **登録したい設定にする。**

- 以下の項目を登録できます。
  モードダイヤルで設定する撮影モード/絞り(F値)/シャッタースピード/露出補正/📷(静止画撮影メニュー)項目/🎞(動画撮影メニュー)項目/光学ズーム倍率
- プログラムシフトは登録できません。

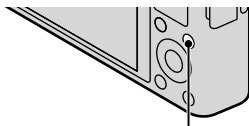
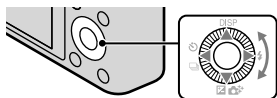
2 **MENU → 📷5 → [登録] → コントロールホイールの◀/▶で好みの番号を選ぶ → 中央の●で決定。**

登録した設定を呼び出す

1 **モードダイヤルを MR(登録呼び出し)にする。**

2 **コントロールホイールの◀/▶を押す、またはホイールを回して呼び出したい番号を選び、中央の●で決定。**

用途に合わせて画像のサイズ/画質を選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。
動画の場合、画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、高いほど画質が向上します。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶を押す、またはホイールを回して好みの画像サイズや記録設定を選び、中央の●を押す。

静止画：画像サイズ

[横縦比]が[3:2]のとき

画像サイズ		用途例
L:20M	5472 × 3648画素	A3ノビサイズまでの印刷
M:10M	3888 × 2592画素	A3サイズまでの印刷
S:5.0M	2736 × 1824画素	L/2L/A4サイズまでの印刷

[横縦比]が[16:9]のとき

画像サイズ		用途例
L:17M	5472 × 3080画素	ハイビジョンテレビでの再生
M:7.5M	3648 × 2056画素	
S:4.2M	2720 × 1528画素	

[横縦比]が[4:3]のとき

画像サイズ		用途例
L:18M	4864 × 3648画素	パソコンでの表示
M:10M	3648 × 2736画素	
S:5.0M	2592 × 1944画素	
VGA	640 × 480画素	Eメールに添付

[横縦比]が[1:1]のとき

画像サイズ		用途例
L:13M	3648 × 3648画素	中判カメラのような構図で撮影できる
M:6.5M	2544 × 2544画素	
S:3.7M	1920 × 1920画素	

パノラマ：画像サイズ

画像サイズ	説明
標準	上下：3872×2160 左右：8192×1856
ワイド	上下：5536×2160 左右：12416×1856

動画：記録設定

[記録方式]が[AVCHD]のとき

記録設定	平均ビットレート	説明
60i 24M(FX)	24 Mbps	1920×1080（60i)の最高画質で撮影する。
60i 17M(FH)	17 Mbps	1920×1080（60i)の高画質で撮影する。
60p 28M (PS)	28 Mbps	1920×1080（60p)の最高画質で撮影する。

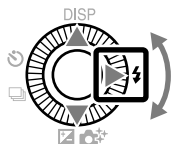
[記録方式]が[MP4]のとき

記録設定	平均ビットレート	説明
1440×1080 12M	12 Mbps	1440×1080で撮影する。
VGA 3M	3 Mbps	VGAサイズで撮影する。

ご注意

- [画質]が[RAW]のとき、RAW画像の画像サイズはL相当となります。画面に画像サイズは表示されません。
- [16:9]や[スイング撮影]で撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることがあります。パノラマ印刷については65ページもご覧ください。
- [記録設定]を[60p 28M (PS)]または[60i 24M(FX)]にして撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください(71ページ)。

フラッシュモードを選ぶ

1 コントロールホイールの ϟ(フラッシュモード)を押し、▲/▼を押す、またはホイールを回して好みのモードを選び、中央の●を押す。

(発光禁止)：発光しない。

(自動発光)：暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。

ϟ(強制発光)：必ず発光する。

(スローシンクロ)：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

(後幕シンクロ)：露光が終わる直前のタイミングで必ず発光する。走っている自動車など動いている被写体を撮ると、動きの軌跡が自然な感じに撮れる。

ご注意

- ズームをW側にしてフラッシュ撮影すると、撮影状況によってはレンズの影が写ることがあります。この場合は被写体から離れて撮影するか、ズームをT側にしてフラッシュ撮影してください。

フラッシュについて

- フラッシュが発光するときは、フラッシュ部が自動で上がります。フラッシュの近くに指を置かないでください。使わないときは手で押して元に戻してください。
- フラッシュが不要な場合は、あらかじめフラッシュモードを[発光禁止]にしておくと、フラッシュ部が自動で上がらなくなります。

使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

下の表で○は変更可能、×は変更不可能を表しています。

選べないフラッシュモードはグレーで表示されます。

撮影機能		発光禁止	AUTO	強制発光	SLOW	REAR
iA（おまかせオート）		○	○	○	×	×
iA+（プレミアムおまかせオート）		○	○	○	×	×
P（プログラムオート）		○	×	○	○	○
A（絞り優先）		○	×	○	○	○
S（シャッタースピード優先）		○	×	○	○	○
M（マニュアル露出）		○	×	○	○	○
（動画）*		○	×	×	×	×
（スイング撮影）*		○	×	×	×	×
シーンセレクション	ポートレート	○	○	○	×	×
	スポーツ、ペット、料理、風景、夕景	○	×	○	×	×
	マクロ	○	○	○	×	×
	手ブレ*、夜景*、手持ち夜景*、打ち上げ花火*、高感度*	○	×	×	×	×
	夜景ポートレート	×	×	×	○	×
ブラケット*		○	×	×	×	×

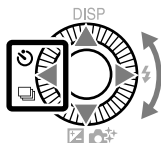
* これらの撮影モードではフラッシュ撮影はできません。

ご注意

- MR（登録呼び出し）時は、設定によって選べるフラッシュモードが変わります。

連続撮影/セルフタイマー/自分撮り機能を使う

1枚撮影、連写、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

1 コントロールホイールの ◯/▭(ドライブモード)を押し、▲/▼を押す、またはホイールを回して好みのモードを選ぶ。

• さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。

□(1枚撮影):通常の撮影方法。

▭(連続撮影):シャッターボタンを押している間、連続して撮影する。

▭(速度優先連続撮影):シャッターボタンを押している間、高速で連続撮影する。ピントと明るさは1枚目で固定される。

◯(セルフタイマー):10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に入るときに、2秒セルフタイマーは、撮影の際のカメラブレを和らげるのに使う。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と電子音が鳴り、撮影が開始される。解除するにはもう一度 ◯/▭ を押す。

◯(自分撮り):カメラが人物の顔を検出して自動撮影。自分にカメラを向けて撮影するときに使う。設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影が開始される。

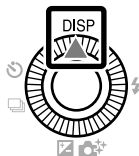
◯c(セルフタイマー(連続)):シャッターボタンを押して10秒後に連写撮影する。3枚または5枚から撮影枚数を選ぶ。

BRK C(連続ブラケット):露出を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。露出の段数は設定できる。

BRK WB(ホワイトバランスブラケット):選択されているホワイトバランス、色温度・カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。[Lo]または[Hi]からずらす値の幅を選ぶ。

モニター表示を変える

1 コントロールホイールのDISPを押して好みのモードを選ぶ。

- 選択できるモードはMENU → ✿ 1 → [DISPボタン(背面モニター)]で設定できます。

撮影時

グラフィック表示：基本的な撮影情報を表示する。シャッタースピードと絞りをグラフィカルに表示する。

全情報表示：撮影情報を表示する。

情報表示なし：撮影情報を表示しない。

水準器：カメラの傾きを示す指標を表示する。水平状態のときは緑色になる。

ヒストグラム：画像の明暗をグラフ(ヒストグラム)で表示する。(お買い上げ時の設定では選べません。[DISPボタン(背面モニター)]で[ヒストグラム]を選択してください。)

再生時

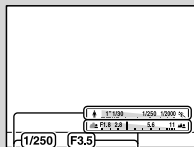
情報表示あり：撮影時の情報を表示する。

ヒストグラム：撮影時の情報とヒストグラムを表示する。

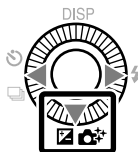
情報表示なし：撮影時の情報を表示しない。

グラフィック表示について

グラフィック表示ではシャッタースピードと絞り値をグラフィカルに表現し、露出の仕組みを分かりやすくイメージ化して表現しています。シャッタースピードインジケーター /絞りインジケーターのバーが現在の値を指しています。

撮影に便利な機能を使う

画像の明るさを調整する

撮影モード「M」以外では、露出が自動的に設定されます（自動露出）。自動露出で設定された露出値を基準に、＋側に補正すると、画像全体を明るく、－側に補正すると、画像全体を暗くできます（露出補正）。

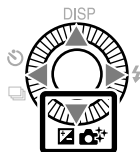
1 コントロールホイールの
/（露出補正）を押す。

2 ◀/▶を押す、またはホイールを回して希望の補正値を選ぶ。

＋（オーバー）側：画像が明るくなる。
－（アンダー）側：画像が暗くなる。

自分好みの設定で撮る（マイフォトスタイル）

マイフォトスタイルは、通常の画面とは異なるデザインで直感的にカメラを操作できるモードです。モードダイヤルがi（おまかせオート）とi⁺（プレミアムおまかせオート）のときに、かんたんな操作で設定を変更して撮影できます。

1 モードダイヤルをi（おまかせオート）または
i⁺（プレミアムおまかせオート）にする。

2 コントロールホイールの⊠/📷(マイフォトスタイル)を押し、◀/▶を押して設定を変更する項目を選ぶ。

(背景ぼかし)：背景のぼかし具合を調整する。

(明るさ)：明るさを調整する。

(色あい)：色合いを調整する。

(鮮やかさ)：鮮やかさを調整する。

(ピクチャーエフェクト)：好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。

3 コントロールホイールの▲/▼を押す、またはホイールを回して希望の設定にする。

- この手順を繰り返して色々な設定を組み合わせることができます。

4 静止画の場合：シャッターボタンを押して撮影する。動画の場合：MOVIEボタンを押して撮影を開始する。

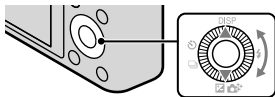
- マイフォトスタイルを終了するには、MENUボタンを押します。

ご注意

- マイフォトスタイルで動画を撮影する場合、記録中に設定できるのは背景ぼかしのみです。
- [おまかせオート]や[プレミアムおまかせオート]に戻ったり、電源を切ると、各設定は初期設定に戻ります。
- プレミアムおまかせオート時に、マイフォトスタイルを設定すると、重ね合わせ処理はされません。

場面に合った撮影モードを使う（シーンセレクション）

1 モードダイヤルを SCN（シーンセレクション）にする。

2 コントロールホイールの▲/▼を押す、またはホイールを回して好みのモードを選び、中央の●を押す。

• ほかのシーンにしたいときは、MENU → 5 → [シーンセレクション]で選び直します。

（ポートレート）：背景をぼかして、人物を際立たせる。肌をやわらかに再現する。

（人物ブレ軽減）：室内で人物撮影をする場合、フラッシュを使わずにブレを軽減する。

（スポーツ）：高速なシャッタースピードで動く物が止まったように撮れる。シャッターボタンを押し続けると連続撮影する。

（ペット）：ペットを最適な設定で撮影する。

（料理）：料理を明るく美味しそうに撮影する。

（マクロ）：花などに近づいて撮影する。

（風景）：風景を手前から奥までくっきりと鮮やかな色で撮る。

（夕景）：夕焼けや朝焼けなどの赤を美しく撮る。

（夜景）：暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮る。

（手持ち夜景）：三脚を使わずにノイズが少ない夜景を撮る。連写を行い、画像を合成して被写体ブレや手ブレ、ノイズを軽減して記録する。

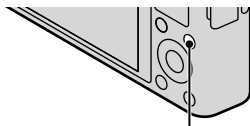
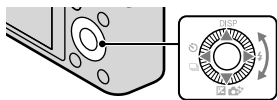
（夜景ポートレート）：夜景を背景に手前の人物を撮る。

(打ち上げ花火)：打ち上げ花火をきれいに撮影する。

(高感度)：暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減する。

独自の風合いが出る効果を使う（ピクチャーエフェクト）

1 モードダイヤルをP（プログラムオート）、A（絞り優先）、S（シャッタースピード優先）またはM（マニュアル露出）にする。

2 MENUボタンを押す。

3 コントロールホイールの◀/▶で 3 を選び、▲/▼を押す、またはホイールを回して[ピクチャーエフェクト]→ 好みのモードを選ぶ。

- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。

(切)：効果を使用しない。

(トイカメラ)：周辺が暗く、シャープ感を抑えた柔らかな仕上がりになる。◀/▶で色合いを設定できる。

(ポップカラー)：色合いを強調してポップで生き生きとした仕上がりになる。

(ポスタリゼーション)：原色のみ、または白黒のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。◀/▶で[ポスタリゼーション：白黒]か[ポスタリゼーション：カラー]かを選択できる。

(レトロフォト)：古びた写真のようにセピア色でコントラストが落ちた仕上がりになる。

(ソフトハイキー)：明るく、透明感や軽さ、優しさ、柔らかさを持ったような仕上がりになる。

(パートカラー)：1色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。◀/▶で残す色を設定できる。

(ハイコントラストモノクロ)：明暗を強調することで緊張感のあるモノクロに仕上がる。

(ソフトフォーカス)：柔らかな光につつまれたような雰囲気の仕上がりになる。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

(絵画調HDR)：絵画のように色彩やディテールが強調された仕上がりになる。3回シャッターが切れる。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

(リッチトーンモノクロ)：階調が豊かでディテールも再現されたモノクロに仕上がる。3回シャッターが切れる。

(ミニチュア)：ミニチュア模型を撮影したようにボケが大きく、鮮やかな仕上がりになる。◀/▶でボケる位置を設定できる。

(水彩画調)：にじみやぼかしを加えて水彩画のような効果をつける。

(イラスト調)：輪郭を強調するなどしてイラストのような効果をつける。◀/▶で効果の強弱を設定できる。

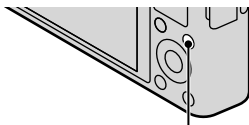
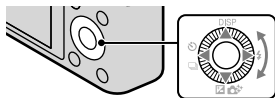
- [トイカメラ]、[ポップカラー]、[ポスタリゼーション]、[レトロフォト]、[ソフトハイキー]、[パートカラー]、[ハイコントラストモノクロ]は動画撮影でも使えます。(デュアル記録はできません。)

撮影した画像を水彩画、イラスト調に加工する

▶(再生)ボタン → MENU → ▶ 2 → [ピクチャーエフェクト]で、撮影した画像を水彩画、またはイラストのように加工できます。

ISO感度を選ぶ

1 モードダイヤルをP(プログラムオート)、A(絞り優先)、S(シャッタースピード優先)、M(マニュアル露出)または⌸(動画)にする。

2 MENUボタンを押す。

3 コントロールホイールの◀/▶で 3 を選び、▲/▼を押す、またはホイールを回して[ISO感度] → 好みのモード → 中央の●を押す。

マルチショットノイズリダクション:連続撮影により写真を重ね合わせ、ノイズの少ない画像を撮影する。

▶で設定画面を表示して、▲/▼でISO AUTO、200 ～ 25600の中から希望の数値を選ぶ。

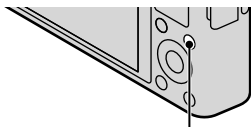
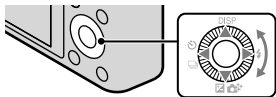
ISO AUTO:カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。▶で設定画面を表示して、ISO AUTO時の上限値、下限値を設定することもできる。

ISO 80 ～ 6400:数値が大きいほど高感度になる。

ご注意

- ISO 125未満の領域は、記録できる被写体輝度の範囲(ダイナミックレンジ)が少し狭くなります。
- 動画撮影時はISO 125 ～ 3200の範囲で選べます。
- [マルチショットノイズリダクション]に設定しているときは、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。また、フラッシュは発光しません。

ピント合わせの方法を選ぶ

1 **MENUボタンを押す。**

2 **コントロールホイールの◀/▶で 2 を選び、▲/▼を押す、またはホイールを回して[フォーカスモード] → 好みのモード → 中央の●を押す。**

AF-S(シングルAF): ピントが合った時点でピントを固定する。止まっているものの撮影に適している。

AF-C(コンティニュアスAF): シャッターボタン半押しの間ピントを合わせ続ける。動いているものの撮影に適している。

DMF(DMF): 手動によるピント合わせとオートフォーカスを組み合わせることができる。

MF(マニュアルフォーカス): ピント合わせを手動で行う。

- [DMF]または[マニュアルフォーカス]で手動でピントを合わせるときは、コントロールリングを回します。

[DMF]を使ってピントを合わせる

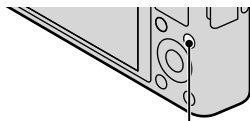
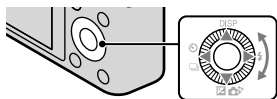
[DMF]では以下のように、手動によるピント調整とオートフォーカスを組み合わせることができます。

- オートフォーカスでピントを合わせたあと、手動でピント微調整を行う
  厳密なピント合わせをしたい被写体などに有効です。シャッターボタンを半押ししたまま、コントロールリングを回します。
- あらかじめ手動でピント調整したあと、オートフォーカスでピントを合わせる
  奥の被写体にピントを合わせたいときに、オートフォーカスでは手前にあるものにピントが合ってしまうような場合に有効です。

Fn(ファンクション)ボタンの設定機能を変える

Fn(ファンクション)ボタンにはよく使う機能を7つまで登録しておくことができ、撮影時に呼び出すことができます。

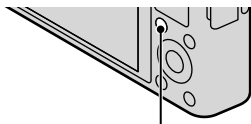
機能を割り当てる

1 **MENUボタンを押す。**

2 **コントロールホイールの◀/▶で⚙2を選び、▲/▼を押す、またはホイールを回して[ファンクションボタン]→[ファンクション1]~[ファンクション7]→好みのモード→中央の●を押す。**

露出補正/フォーカスモード/オートフォーカスエリア/ISO感度/ドライブモード/測光モード/フラッシュモード/調光補正/ホワイトバランス/ DRO/オートHDR /クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/美肌効果/画質/画像サイズ/顔検出/スマイルシャッター /横縦比:設定した機能が割り当てられる。

未設定:機能を割り当てない。

撮影に便利な機能を使う

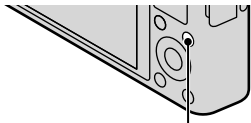
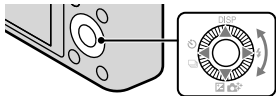
割り当てた機能を呼び出す

1 撮影画面でFn(ファンクション)ボタンを押す。

2 Fn(ファンクション)ボタンまたは◀/▶で設定する機能を選ぶ。

3 コントロールホイールまたはコントロールリングを回して設定する。

コントロールリングの設定機能を変える

コントロールリングにはよく使う機能を登録しておくことができ、撮影時に即時に設定ができます。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールホイールの◀/▶で✿ 2 を選び、▲/▼を押す、またはホイールを回して[コントロールリング] → 好みのモード → 中央の●を押す。

スタンダード：撮影モードごとにカメラがおすすめする機能が割り当てられる。

露出補正/ISO感度/ホワイトバランス/クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/ズーム/シャッタースピード/絞り：設定した機能が割り当てられる。

未設定：機能を割り当てない。

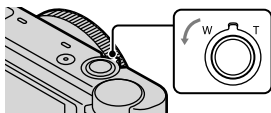
撮影モード	[スタンダード]時に割り当てられる機能
i（おまかせオート）	ズーム
i+（プレミアムおまかせオート）	ズーム
P（プログラムオート）	プログラムシフト
A（絞り優先）	絞り
S（シャッタースピード優先）	シャッタースピード
M（マニュアル露出）	絞り
（スイング撮影）	撮影方向
SCN（シーンセレクション）	シーンセレクション

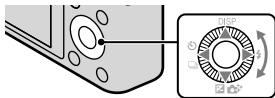
ご注意

- [フォーカスモード]が[DMF]または[マニュアルフォーカス]のときは割り当てられた機能を呼び出すことはできません。コントロールリングは手動ピント合わせとして機能します。

素早く探す（一覧表示）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、W/T（ズーム）レバーをW側に動かす。

- W/T（ズーム）レバーをもう一度W側に動かすと、更に細かい一覧表示画面になります。

2 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶を押す、またはホイールを回して画像を選ぶ。

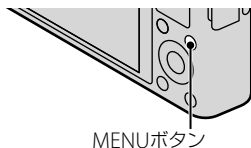
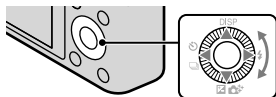
- コントロールホイール中央の●を押すと、1枚再生に戻ります。

一覧表示画面で動画のみ表示する

MENU → ▶ 1 → [静止画/動画 切換] → MP4（フォルダービュー（MP4））またはAVCHD（AVCHDビュー）で、動画だけの一覧表示画面を表示することができます。

MP4（フォルダービュー（MP4））	MP4形式の動画を表示する。
AVCHD（AVCHDビュー）	AVCHD形式の動画を表示する。

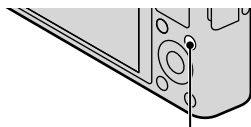
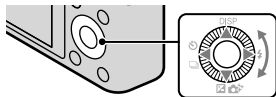
- 再生した動画が終わると自動的に次の動画が始まります。

連続して再生する（スライドショー）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、MENUボタンを押す。

2 コントロールホイールの◀/▶で ▶ 1を選び、▲/▼を押す、またはホイールを回して［スライドショー］を選ぶ。

3 ［実行］を選び、中央の●を押す。

- スライドショーを終了するには、中央の●を押します。

動画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、MENUボタンを押す。

2 コントロールホイールの◀/▶で ▶ 1を選び、▲/▼を押す、またはホイールを回して[静止画/動画 切換] → [フォルダービュー(MP4)]または[AVCHDビュー] → 中央の●を押す。

- 静止画再生に戻すには、[フォルダービュー(静止画)]を選びます。

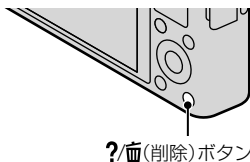
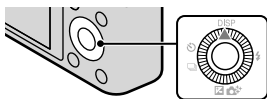
3 ▲/▼/◀/▶を押す、またはホイールを回して再生したい動画を選び、中央の●を押す。

動画の再生が始まる。

- もう一度中央の●を押すと、一時停止します。再生中に◀/▶を押すと早戻し、早送りができます。

コントロールホイール操作	動画再生中にできること
●	一時停止/再生
▶	早送り
◀	早戻し
一時停止中にコントロールホイールを右に回す	正方向スロー再生
一時停止中にコントロールホイールを左に回す • コマ送りになる。	逆方向スロー再生
▼→▲/▼	音量
▲	情報表示

削除する

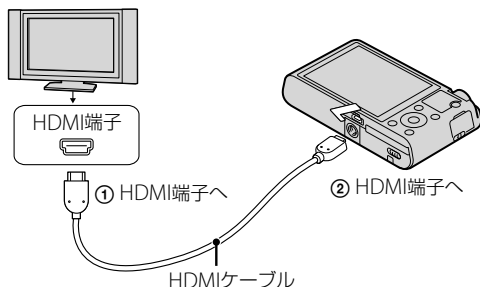
1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、?/🗑(削除)ボタンを押す。

2 コントロールホイールの▲で[削除]を選び、中央の●を押す。

すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカードのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

① MENUボタンを押す。
② コントロールホイールの◀/▶で◀1を選ぶ。
③ ▲/▼で[フォーマット]を選び、中央の●を押す。
④ [実行]を選び、中央の●を押す。

テレビで見る

テレビで見るには、別売の接続ケーブルが必要です。
HDMIケーブル（別売）で接続すると、本機で撮影した画像を高画質でお楽しみいただけます。

1 本機とテレビをHDMIケーブル（別売）で接続する。

ご注意

- 本機側はHDMIマイクロ端子、テレビ側はテレビの端子に合ったタイプのHDMIケーブルをお使いください。
- HDMI端子のないテレビではご覧になれません。
- HDMIケーブルを本機に差し込む際は、HDMIカバーを充分に開いてください。
- 本機のモニターは点灯しません。

海外で見るときは

本機で撮影した動画をテレビで見るには、本機と同じカラーテレビ方式（NTSC）が必要です。使用する国、または地域のカラーテレビ方式をご確認ください。

NTSC方式
　アメリカ、カナダ、韓国、台湾、メキシコなど

プリントする

静止画をプリントするには、下記の方法があります。

- ダイレクトプリント（メモリーカード対応プリンター使用）
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使ってプリント
  ソフトウェア「PlayMemories Home」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。日付を入れてプリントできます。
  詳しくは、「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。
- お店でプリント
  詳しくは、プリントサービス店にご相談ください。

パノラマ画像をプリントする

パノラマ撮影した画像のプリント画像は印刷方法やプリンターによって異なります。

- パノラマ画像を縁無しで印刷すると、中央部のみ印刷されます。
- パノラマ画像を縁ありで印刷すると、画像を縮小して全体が印刷されます。
- プリンターによってはパノラマ画像を印刷できない場合があります。詳しくはプリンターメーカーにお問い合わせください。

パソコンで見る

サイバーショットで撮影した画像をパソコンでご活用いただくために、以下のソフトウェアをお使いください。

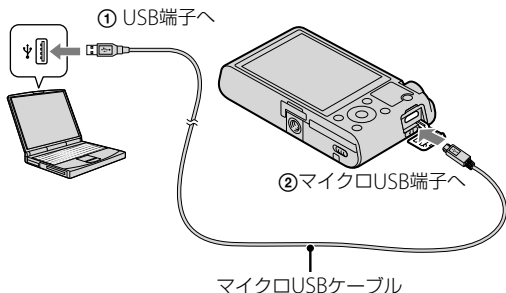
- 「Image Data Converter」
  RAW画像を現像できます。詳しくは69ページをご覧ください。
- 「PlayMemories Home」(Windowsのみ)
  撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。
  詳しくは「PlayMemories Home ヘルプガイド」、または PlayMemories Homeサポートページ(http://www.sony.co.jp/pmh-sj/)をご覧ください。

「PlayMemories Home ヘルプガイド」を見る

1 **デスクトップ上の[PlayMemories Home ヘルプガイド]アイコンをダブルクリックする。**

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PlayMemories Home] → [PlayMemories Home ヘルプガイド]の順にクリックします。

「PlayMemories Home」で画像をパソコンに取り込む

1 本機とパソコンをマイクロUSBケーブル(付属)で接続する。

- 通信中は本機のモニターに が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 USB が表示されたら操作できます。
- [USB給電]が[入]になっているとき、パソコンと本機をマイクロUSBケーブルでつなぐとパソコンから給電が始まります。(初期設定は[入]です。)

2 [取り込み開始]をクリックする。

- その他詳しくは、「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。

ご注意

- AVCHD動画を取り込むなどの操作は「PlayMemories Home」を使用してください。
- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマイクロUSBケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。
- パソコンとの接続を切断するには、タスクトレイの切断アイコン( )をクリックし、[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックしてください。
- Windows XPでパソコンにインストールされているWindows Media PlayerがVer.10の場合は、カメラをパソコンに接続しても認識されない場合があります。

  このような場合はケーブルを抜いて、MENU → 2 → [USB接続] → [マスストレージ]にしてから、接続しなおしてください。

「Mac」で見る

Macに画像を取り込めます。ただし「PlayMemories Home」は対応していません。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。詳しくは、以下のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/

パソコンの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：
USB接続: Mac OS X v10.3 ～ v10.7

ご注意

- AVCHD動画を取り込むなどの操作は、Macにバンドルされているソフトウェア「iMovie」を使用してください。

「Image Data Converter」でできること

次のことなどができます。

- RAW画像を、トーンカーブやシャープネスなど多彩な補正機能で編集
- ホワイトバランスや露出、クリエイティブスタイルなどの画像の調整
- 表示、編集した静止画をパソコンに保存
  RAWデータのまま保存する方法と、汎用ファイルフォーマット形式で保存する方法があります。
- 本機で撮影したRAW画像/JPEG画像の表示、比較
- 5段階でランク付け
- カラーラベルの設定

詳しい使いかたはヘルプをご覧ください。
［スタート］→［すべてのプログラム］→［Image Data Converter］→［ヘルプ］→［Image Data Converter Ver.4］

「Image Data Converter」のサポート情報
http://www.sony.co.jp/ids-sj/

「Image Data Converter」をインストールする

Windows：

1 パソコンの推奨環境を確認する

OS（工場出荷時にインストールされていること）：
Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1

CPU：
Pentium 4以上

* 64bit版は除きます。

2 以下のURLからソフトウェアをダウンロードしてインストールする

http://www.sony.co.jp/imsoft/Win/

Mac：

1 パソコンの推奨環境を確認する

OS（工場出荷時にインストールされていること）：
Mac OS X v10.5、10.6（Snow Leopard）、10.7（Lion）

CPU：
Intel Core Solo/Core Duo/Core 2 Duoなどのインテルプロセッサー

2 以下のURLからソフトウェアをダウンロードしてインストールする

http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/

ご注意

- コンピューターの管理者権限でログオンしてください。

動画のディスクを作成する

本機で記録したAVCHD動画からディスクを作成することができます。ディスクの種類によって再生可能な機器が異なります。お使いの再生機器に合わせて、作成するディスクの種類を選択してください。作成方法は、「PlayMemories Home」を使ってパソコンで作成する方法と、レコーダーなどのパソコン以外の機器を使って作成する方法を紹介します。

ディスクの種類/目的	記録できる動画画質			再生機器
	PS	FX	FH	
Blu-ray ハイビジョン画質（HD）で残したい	○	○	○	ブルーレイディスク再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など）
DVD ハイビジョン画質（HD）（AVCHD記録ディスク）で残したい	×*	×*	○	AVCHD規格対応再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など）
DVD 標準画質（STD）で記録して残したい	×*	×*	×*	一般的なDVD再生機器（DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）

* 「PlayMemories Home」でのディスク作成時に、画質を落とした変換をすれば記録できます。

パソコンでディスクを作成する

「PlayMemories Home」を使ってAVCHD動画をパソコンに取り込み、ブルーレイディスク、AVCHD記録ディスク、または標準画質（STD）のディスクを作成することができます。
「PlayMemories Home」を使ったディスクの作り方についての詳細は「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。

ご注意

- ブルーレイディスクを「PlayMemories Home」で作成するには専用のアドオンソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは、以下のURLをご覧ください。
  http://support.d-imaging.sony.co.jp/BDUJ/
- [記録設定]を[60p 28M (PS)]または[60i 24M (FX)]にして撮影した動画は、「PlayMemories Home」でのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。
- [60p 28M (PS)]で撮影した動画から作成したブルーレイディスクを再生するには、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器が必要です。

パソコン以外の機器でディスクを作成する

ブルーレイレコーダーなどでもディスクを作成することができます。
機器によって作成できるディスクの種類が異なります。

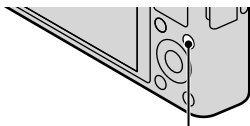
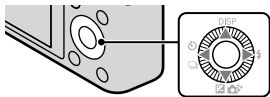
使用する機器	作成できるディスクの種類
ブルーレイレコーダーを使ってブルーレイディスクや標準画質(STD)のディスクを作成する。	Blu-ray ハイビジョン画質(HD) DVD 標準画質(STD)
HDDレコーダーなどを使って標準画質(STD)のディスクを作成する。	DVD 標準画質(STD)

ご注意

- [60p 28M (PS)]で撮影した動画を保存するには、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。
- 作成方法の詳細は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

電子音の設定を変える

本機を操作したときの電子音の有り無しを設定します。

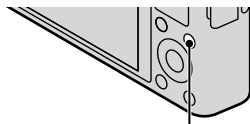
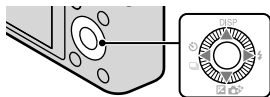
1 MENUボタンを押す。

2 コントロールホイールの◀/▶で🔧2 を選ぶ。

3 ▲/▼を押す、またはホイールを回して[電子音] → 好みのモード → 中央の●を押す。

入：コントロールホイール/シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。

切：操作音/シャッター音は鳴らない。

画像に撮影日付を入れる

撮影した日付を画像に挿入するように設定できます。

1 **MENUボタンを押す。**

2 **コントロールホイールの◀/▶で📷5を選ぶ。**

3 **▲/▼を押す、またはホイールを回して[日付書き込み]→ 好みのモード → 中央の●を押す。**

入：日付を挿入する。

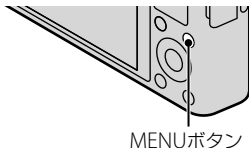
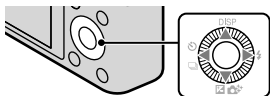
切：日付を挿入しない。

ご注意

- 画像に入れた日付表示は消せません。
- 印刷時に日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。
- [画質]が[RAW]または[RAW+JPEG]のときは日付は挿入されません。

MENUにある機能を使う

撮影、再生、操作方法などカメラ全体に関する設定を変更したり、機能の実行を行えます。
お買い上げ時の状態に戻すには、MENU → 🔧3 → [設定リセット] → 希望の設定 → [確認]で戻せます。

1 **MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。**

2 **コントロールホイールの◀/▶でメニューのページを選ぶ。**

3 **▲/▼を押す、またはホイールを回して項目を選び、中央の●を押す。**

4 **画面の指示に従って項目を選び、中央の●を押して決定する。**

静止画撮影メニュー

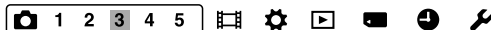
📷 **1** 2 3 4 5 | 🎞 ⚙ ▶ ▬ 🕘 🔧

画像サイズ	静止画のサイズを選択する。 （L: 20M/M: 10M/S: 5.0M（3:2のとき） L: 17M/M: 7.5M/S: 4.2M（16:9のとき） L: 18M/M: 10M/S: 5.0M/VGA（4:3のとき） L: 13M/M: 6.5M/S: 3.7M（1:1のとき））
横縦比	静止画の横縦比を選択する。 （3:2/16:9/4:3/1:1）
画質	静止画の画質を設定する。 （RAW/RAW+JPEG/ファイン/スタンダード）
パノラマ：画像サイズ	パノラマ画像のサイズを選択する。 （標準/ワイド）
パノラマ：撮影方向	パノラマの撮影方向を設定する。 （右/左/上/下）

📷 1 **2** 3 4 5 | 🎞 ⚙ ▶ ▬ 🕘 🔧

ドライブモード	連続撮影などの撮影方法を設定する。 （1枚撮影/連続撮影/速度優先連続撮影/ セルフタイマー /自分撮り/ セルフタイマー（連続）/連続ブラケット/ ホワイトバランスブラケット）
フラッシュモード	フラッシュの発光方式を設定する。 （発光禁止/自動発光/強制発光/スローシンクロ/ 後幕シンクロ）
フォーカスモード	被写体の動きに応じたピント合わせの方法を選ぶ。 （シングルAF/コンティニュアスAF/DMF/ マニュアルフォーカス）
オートフォーカスエリア	ピント合わせの位置を選ぶ。 （マルチ/中央重点/フレキシブルスポット）

美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 （切/入）
顔検出/スマイルシャッター	人物の顔を自動でとらえ、ピントや露出を最適にする。笑顔を検出すると自動で撮影する。 （切/入（登録顔優先）/入/スマイルシャッター）
オートポートレートフレーミング	人物撮影時にシーンを分析して、印象の異なる構図で画像を保存する。 （切/オート）

1 2 3 4 5

ISO感度	ISO感度を設定する。 （マルチショットノイズリダクション/ ISO AUTO/ISO 80 ～ ISO 6400）
測光モード	明るさを測る方法を選ぶ。 （マルチ/中央重点/スポット）
調光補正	フラッシュの発光量を調整する。 （－2.0EV ～ +2.0EV）
ホワイトバランス	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 （オートホワイトバランス/太陽光/日陰/曇天/ 電球/蛍光灯：温白色/蛍光灯：白色/ 蛍光灯：昼白色/ 蛍光灯：昼光色/フラッシュ / 色温度・カラーフィルター /カスタム/ カスタムセット）
DRO/**オート**HDR	明るさ、コントラストを自動補正する。 （切/Dレンジオプティマイザー /オートHDR）
クリエイティブスタイル	お好みの画像の仕上がりを選ぶ。 （スタンダード/ビビッド/ポートレート/風景/ 夕景/白黒）
ピクチャーエフェクト	好みの効果を選んで、より印象的な表現の画像を撮影できる。 （切/トイカメラ/ポップカラー / ポスタリゼーション/レトロフォト/ ソフトハイキー /パートカラー / ハイコントラストモノクロ/ソフトフォーカス/ 絵画調HDR/リッチトーンモノクロ/ミニチュア/ 水彩画調/イラスト調）

1 2 3 4 5

全画素超解像ズーム	デジタルズームよりも高画質でズームする。 (入/切)
デジタルズーム	全画素超解像ズーム以上の倍率でズームできる。 (入/切)
長秒時ノイズリダクション	シャッタースピードを1/3秒以上にした場合のノイズ軽減処理を設定する。 (入/切)
高感度ノイズリダクション	高感度撮影した場合のノイズ軽減処理を設定する。 (強/標準/弱)
AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。 (オート/切)
手ブレ補正	手ブレ補正の設定をする。 (入/切)
色空間	再現できる色の範囲を変更する。 (sRGB/AdobeRGB)

1 2 3 4 5

撮影アドバイス一覧	撮影アドバイスの一覧を表示する。
日付書き込み	撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定する。 (入/切)
シーンセレクション	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。 (ポートレート/人物ブレ軽減/スポーツ/ペット/料理/マクロ/風景/夕景/夜景/手持ち夜景/夜景ポートレート/ 打ち上げ花火/高感度)
登録呼び出し	モードダイヤルがMR(登録呼び出し)のとき、呼び出したい設定を選択する。 (1/2/3)
登録	好みのモード、カメラの設定を登録する。

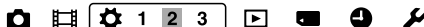
動画撮影メニュー

記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。 （AVCHD/MP4）
記録設定	動画のサイズを選択する。 （60i 24M(FX)/60i 17M(FH)/60p 28M (PS)/ 1440×1080 12M/VGA 3M）
画像サイズ（デュアル記録）	動画記録中に撮影する画像サイズを設定する。 （L: 17M/S: 4.2M（16:9のとき） L: 13M/S: 3.2M（4:3のとき））
手ブレ補正	手ブレ補正の設定をする。 （アクティブ/スタンダード/切）
音声記録	動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。 （入/切）
風音低減	動画撮影時、風音を低減する。 （入/切）
動画	撮りたい被写体や効果に合わせて、露出モードを選んで撮影する。 （プログラムオート/絞り優先/ シャッタースピード優先/マニュアル露出）

カスタムメニュー

カスタム 1 / 2 / 3

赤目軽減発光	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。 （入/切）
グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。 （3分割/方眼/対角＋方眼/切）
オートレビュー	撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。 （10秒/5秒/2秒/切）
DISPボタン（背面モニター）	コントロールホイールのDISPを押して液晶モニターに表示する情報の種別を設定する。 （グラフィック表示/全情報表示/情報表示なし/水準器/ヒストグラム）
ピーキングレベル	マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定された色で強調表示する設定をする。 （高/中/低/切）
ピーキング色	輪郭を強調表示するピーキング表示の色を設定する。 （レッド/イエロー /ホワイト）

カスタム 1 / 2 / 3

コントロールリング	コントロールリングにお好みの機能を割り当てる。 （スタンダード/露出補正/ISO感度/ ホワイトバランス/ クリエイティブスタイル/ ピクチャーエフェクト/ ズーム/ シャッタースピード /絞り/未設定）
コントロールリング表示	コントロールリング操作時にアニメーション表示するかどうかを設定する。 （入/切）

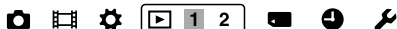
ファンクションボタン	Fn（ファンクション）ボタンで表示する機能をカスタマイズする。 （露出補正/フォーカスモード/ オートフォーカスエリア/ISO感度/ドライブモード/ 測光モード/フラッシュモード/調光補正/ ホワイトバランス/ DRO/オートHDR / クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/ 美肌効果/画質/画像サイズ/ 顔検出/スマイルシャッター /横縦比/未設定）
中央ボタンの機能	中央ボタンにお好みの機能を割り当てる。 （スタンダード/再押しAEL/ 再押しAF/MFコントロール /ピント拡大）
左ボタンの機能	左ボタンにお好みの機能を割り当てる。 （露出補正/ドライブモード/フラッシュモード/ フォーカスモード/ オートフォーカスエリア/ 顔検出/スマイルシャッター / オートポートレートフレーミング/美肌効果/ ISO感度/測光モード/調光補正/ ホワイトバランス/ DRO/オートHDR / クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/ 画像サイズ/横縦比/画質/登録/再押しAEL/ 再押しAF/MFコントロール /ピント拡大）
右ボタンの機能	右ボタンにお好みの機能を割り当てる。 （露出補正/ドライブモード/フラッシュモード/ フォーカスモード/ オートフォーカスエリア/ 顔検出/スマイルシャッター / オートポートレートフレーミング/美肌効果/ ISO感度/測光モード/調光補正/ ホワイトバランス/ DRO/オートHDR / クリエイティブスタイル/ピクチャーエフェクト/ 画像サイズ/横縦比/画質/登録/再押しAEL/ 再押しAF/MFコントロール /ピント拡大）

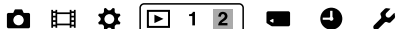
1 2 3

MFアシスト	手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。 （入/切）
ピント拡大時間	拡大表示する時間を設定する。 （2秒/5秒/無制限）

顔優先追尾	被写体追尾時に人の顔を優先して追尾するかどうかを設定する。 （入/切）
個人顔登録	優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。 （新規登録/優先順序変更/削除/全て削除）

再生メニュー

1 2

静止画/動画 切換	静止画と動画の表示を切り換える。 （フォルダービュー（静止画）/ フォルダービュー（MP4）/AVCHDビュー）
削除	画像を削除する。 （画像選択/フォルダー内全て/ AVCHDビュー動画全て）
スライドショー	画像を連続再生する。 （リピート/間隔設定/画像種別）
一覧表示	画像を一覧表示する。 （4枚/9枚）
3D鑑賞	3D対応テレビと接続して3D画像を再生する。
プロテクト	画像を誤って消さないように保護（プロテクト）する。 （画像選択/静止画全て解除/動画（MP4）全て解除/ AVCHDビュー動画全て解除）
プリント指定	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 （DPOF指定/日付プリント）

1 2

ピクチャーエフェクト	画像に効果をつけ、別ファイルで保存する。 （水彩画調/イラスト調）
音量設定	動画再生の音量を設定する。
縦記録画像の再生	縦記録画像の再生方法を設定する。 （縦向き/横向き）

メモリーカードツールメニュー

フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。 (連番/リセット)
記録フォルダー選択	画像を記録するフォルダーを設定する。
フォルダー新規作成	静止画と動画(MP4)を記録する新しいフォルダーを作成する。
管理ファイル修復	画像の管理ファイル修復を行い、記録・再生できるようにする。
メモリーカード残量表示	現在撮影可能な動画の時間と静止画の枚数を表示する。

時計設定メニュー

日時設定	時計、日付の設定をする。
エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。

セットアップメニュー

1 2 3

メニュー呼び出し先	メニューの呼び出し先を変更する。リストの先頭、または最後に選んだ項目を呼び出すことができる。 (先頭/前回位置)
モードダイヤルガイド	モードダイヤルガイド(各撮影モードの説明)の表示を設定する。 (入/切)
モニター明るさ	モニターの明るさを設定する。 (オート/マニュアル/屋外晴天)

パワーセーブ開始時間	自動的に電源が切れる時間を設定する。 （30分/5分/2分/1分）
HDMI解像度	HDMIからテレビに出力する解像度を選ぶ。 （オート/1080p/1080i）
HDMI機器制御	ブラビアリンク対応のテレビと接続した場合、テレビのリモコンで操作するかどうか設定する。 （入/切）

1 2 3

アップロード設定*	市販のEye-Fiカードを使うときのアップロード通信設定をする。 （入/切）
USB接続	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。 （オート/マスストレージ/MTP）
USB LUN設定	本機をUSBでパソコンなどと接続するときのモードを設定する。 （マルチ/シングル）
USB給電	USB接続して給電するかどうか設定する。 （入/切）
電子音	本機の操作時に鳴る音を設定する。 （入/切）

* Eye-Fiカード（別売）挿入時のみ表示されます。

1 2 3

バージョン表示	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。
落下検出	落下検出の機能を設定する。 （入/切）
デモモード	動画のデモンストレーションの入/切を設定する。 （入/切）
設定リセット	設定を初期値に戻す。 （設定値リセット/撮影モードリセット/カスタム設定リセット）

使用できるメモリーカード

以下の一覧を参考にして、使用するメモリーカードを選んでください。静止画撮影、または動画撮影で使用できるメモリーカードを○で表しています。

対応メモリーカード	静止画	動画	本書での表現
メモリースティック PRO デュオ	○	○(Mark2のみ)	メモリースティック デュオ
メモリースティック PRO-HG デュオ	○	○	
メモリースティック デュオ	○	×	
メモリースティック マイクロ（M2）	○	○(Mark2のみ)	メモリースティック マイクロ
SDメモリーカード	○	○(Class 4以上)	SDカード
SDHCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
SDXCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
microSD メモリーカード	○	○(Class 4以上)	microSD メモリーカード
microSDHC メモリーカード	○	○(Class 4以上)	

• マルチメディアカードは使用できません。

記録できる枚数/時間については、86 ～ 87ページをご覧ください。容量ごとの一覧を参考に、メモリーカードの容量を選んでください。

ご注意

- SDカードを動画撮影に使用するときは、SDカードのclassも確認してください。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とマイクロUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示がされる場合がありますが、決して実行しないでください。内容が全て失われます。(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
- "メモリースティック マイクロ"、microSD メモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

[画像サイズ]:[L: 20M]
[横縦比]:[3:2]のとき*

(単位:枚)

容量 / 画質	本機でフォーマットしたメモリーカード					
	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
スタンダード	295	590	1200	2400	4800	9600
ファイン	170	345	690	1350	2800	5500
RAW+JPEG	58	115	235	470	950	1900
RAW	88	175	355	710	1400	2850

* [横縦比]を[3:2]以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます(RAW設定時は除く)。

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときでも、「9999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。

容量 / 記録設定	本機でフォーマットしたメモリーカード					
	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
60i 24M(FX)	10分	20分	40分	1時間30分	3時間	6時間
60i 17M(FH)	10分	30分	1時間	2時間	4時間5分	8時間15分
60p 28M(PS)	9分	15分	35分	1時間15分	2時間30分	5時間5分
1440×1080 12M	15分	40分	1時間20分	2時間45分	5時間30分	11時間5分
VGA 3M	1時間10分	2時間25分	4時間55分	9時間55分	20時間	40時間10分

- 連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です。また、MP4時は1つの動画ファイルの最大サイズは約2GBまでです。

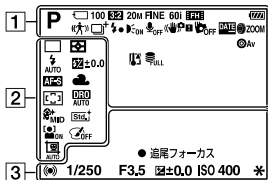
ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため記録時間が変動します。
  動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。
  また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

モニターに表示されるアイコン一覧

モニターには、カメラの状態を表すアイコンが出ます。コントロールホイールの DISP で、モニターの表示が切り替わります（49ページ）。

撮影時のアイコン一覧

1

表示	意味
i i P P*A S M i P A S M	撮影モード
1 2 3	登録呼び出し
OFF	メモリーカード/アップロード
100	撮影可能枚数
3:2 16:9 4:3 1:1	静止画の画像横縦比

表示	意味
20M/ 18M/ 17M/ 13M/ 10M/ 7.5M/ 6.5M/ 5.0M/ 4.2M/ 3.7M/ 3.2M/VGA WIDE STD	静止画の画像サイズ
RAW RAW+J FINE STD	静止画の画質
60p 60i	動画のフレームレート
FX FH PS 1080 VGA	動画の記録設定
	バッテリー容量
	バッテリー残量警告
	シーン認識マーク
ISO	シーンセレクション
	重ね合わせ設定表示
	フラッシュ充電表示

表示	意味
ON	AF補助光
OFF	動画音声記録オフ
	風音低減
OFF	手ブレ補正
	手ブレ警告
OFF	落下検出OFF
DATE	日付書き込み
ZOOM	コントロールリングの機能
Av	コントロールホイールの機能
	温度上昇警告
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告
C	全画素超解像ズーム
D	デジタルズーム
	データ書き込み中
キャプチャー	静止画取り込み中
	静止画撮影不可
	スポット測光サークル
C:32:00	自己診断表示
	水準器

2

表示	意味
S 10 2 C3 C5 BRK C 0.3EV BRK C 0.7EV	ドライブモード
	測光モード
AUTO SLOW REAR	フラッシュモード/赤目軽減発光
±0.0	調光補正
AF-S AF-C DMF MF	フォーカスモード
AWB -1 0 +1 +2 WB 7500K A5 G5	ホワイトバランス
	フォーカスエリア
D-R OFF DRO AUTO HDR AUTO	DRO/オートHDR
HI MID LO OFF	美肌効果
Std. Vivid Port. Land. Sunset B/W	クリエイティブスタイル
OFF ON	顔検出/スマイルシャッター
Toy Norm, Pop, Pos, Pos, Rtro, SftH key, Part R, Part G, Part B, Part Y, HC BW, Soft Mid, Pntg Mid, Rich BW, Mini AUTO, OFF, WtrC, Ilus Mid	ピクチャーエフェクト
AUTO OFF	オートポートレートフレーミング

表示	意味
[☻]	スマイル検出感度インジケーター

3

表示	意味
● 追尾フォーカス	追尾フォーカス用ガイド表示
録画 0:12	動画の記録時間（分：秒）
● (◉) ( )	フォーカス
1/250	シャッタースピード
F3.5	絞り値
M.M. ±0.0	メータードマニュアル
±0.0	露出補正値
ISO400	ISO感度
✱	AEロック
1" 1/30 1/250 1/2000	シャッタースピードインジケーター
F1.4 2.8 5.6 11 22	絞りインジケーター
	ヒストグラム

再生時のアイコン一覧

1

表示	意味
OFF	メモリーカード/アップロード
MP4 AVCHD	ビューモード
100-0003	フォルダー番号–ファイル番号
3:2 16:9 4:3 1:1	静止画の画像横縦比
20M/ 18M/ 17M/ 13M/ 10M/ 7.5M/ 6.5M/ 5.0M/ 4.2M/ 3.7M/ 3.2M/VGA WIDE STD 16:9	静止画の画像サイズ
RAW RAW+J FINE STD	静止画の画質
60p 60i	動画のフレームレート

表示	意味
FX FH PS 1080 VGA	動画の記録設定
AVCHD MP4	動画の記録方式
O-π	プロテクト
DPOF	DPOF（プリント)指定
	バッテリー容量
	バッテリー残量警告
	温度上昇警告
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告
AUTO	オートポートレートフレーミング画像

2

表示	意味
Pntg Mid ! Rich BW !	ピクチャーエフェクトエラー
HDR !	オートHDR画像警告
1/250	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ISO400	ISO感度
2012-1-1 10:37AM	撮影日時
3/7	画像番号/ビューモード内画像枚数

その他

もっと詳しく知りたい（サイバーショットユーザーガイド）

「サイバーショットユーザーガイド」はオンラインで見るマニュアルです。
さらに詳しい使い方を知りたいときにご覧ください。

1 サポートページにアクセスする。

http://www.sony.jp/support/manual_dsc.html

2 型名をサイト内で検索して本機の「サイバーショットユーザーガイド」を探す。

- 型名は本機の底面をご覧ください。

検索エンジンで探す

お使いの検索エンジンで「型名」、「ユーザーガイド」を入力して検索することもできます。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットユーザーガイド(HTML)」も参照し、本機を点検する。

モニターに「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットユーザーガイド」をご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする(84ページ)。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる(裏表紙)。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください(12ページ)。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(12ページ)。
- バッテリーは使わなくても自然放電で少しずつ消耗します。充電をしてからお使いください。
- NP-BX1タイプのバッテリーかご確認ください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます。
- 操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリー充電中、本機の電源/充電ランプが点滅する。

- NP-BX1タイプのバッテリーかご確認ください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電すると、本機の電源/充電ランプが点滅することがまれにあります。その場合はカメラからバッテリーを取り出し、入れなおしてください。

電源/充電ランプが消えて充電が終わっても、充電ができていない。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。
  バッテリーの充電は周囲温度が10℃～ 30℃の環境で行ってください。

カメラを振ると、音がする。

- 電源が入っていない状態で、カメラを振ると音がする場合がありますが、故障ではありません。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードの空き容量を確認してください(86ページ)。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください(63ページ)。
  – メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影時は以下のメモリーカードをおすすめします。
  – "メモリースティックPRO デュオ"(Mark2)、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、"メモリースティック マイクロ"(Mark2)
  – SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード、microSD メモリーカード、microSDHC メモリーカード(Class 4以上)

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダー /ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本体で再生するには「PlayMemories Home」をご使用ください。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

レンズやフラッシュ発光部をきれいにする

レンズやフラッシュ発光部に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10℃ ～ 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機を湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー（61ページ）を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

対応バッテリーについて

NP-BX1（付属）は、Xタイプに対応したサイバーショットにのみ使用できます。

Eye-Fiカードについて

Eye-Fiカードはアメリカ、カナダ、日本、EUの一部の国で販売しています。（2012年6月現在）

- Eye-Fiカードに関するお問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
- Eye-Fiカードはご購入された国のみで使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

安全のために

→ *2ページもあわせてお読みください。*

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

つづき

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

つづき

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	• 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。 • 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 • 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 • 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 • 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。	禁止
⚠警告	• 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 • バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。 • アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。 • 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。	禁止
⚠注意	• 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。 • 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。	指示

お願い	リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。
	Li-ion リチウムイオン電池
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、 一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

その他

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：13.2 mm×8.8 mm（1.0型）
Exmor CMOSセンサー
総画素数：約2090万画素
カメラ有効画素数：約2020万画素
レンズ：
カール ツァイスバリオゾナーT*
3.6倍ズームレンズ
f=10.4 mm ～ 37.1 mm
（28 mm ～ 100 mm（35 mmフィルム換算値））、F1.8（W）～ F4.9（T）
動画撮影時（16：9）：
29 mm ～ 105 mm*[1]
動画撮影時（4：3）：
36 mm ～ 128 mm*[1]
*[1] [手ブレ補正]が[スタンダード]のとき
手ブレ補正：光学式
露出制御：自動、絞り優先、シャッタースピード優先、マニュアル露出、シーンセレクション（13モード）
ホワイトバランス：オート/太陽光/日陰/曇天/電球/蛍光灯（温白色/白色/昼白色/昼光色）/フラッシュ /色温度・カラーフィルター /カスタム
信号方式：NTSCカラー、EIA標準方式
記録方式：
静止画記録方式：
JPEG（DCF、Exif、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
動画記録方式（AVCHD方式）：
AVCHD規格 Ver.2.0準拠
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：Dolby Digital 2ch
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載
• ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
動画記録方式（MP4方式）：
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch
記録メディア：
"メモリースティック デュオ"、"メモリースティック マイクロ"、SDカード、microSD メモリーカード
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.3 m～ 17.1 m（W）/
約0.55 m～ 6.3 m（T）

[入出力端子]

HDMI端子：HDMIマイクロ端子
マイクロUSB端子：USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0）

[モニター]

液晶モニター：
7.5 cm（3.0型）、TFT駆動
総ドット数：1 228 800ドット

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパックNP-BX1、3.6 V
ACアダプター AC-UD11、5 V
消費電力（撮影時）：約1.5 W
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法（CIPA準拠）：
101.6 mm×58.1 mm×35.9 mm
（幅×高さ×奥行き）
本体質量（CIPA準拠）
（バッテリー NP-BX1、"メモリースティック デュオ"を含む）：
約240 g
マイクロホン：ステレオ
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応

ACアダプター AC-UD11

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、
50 Hz/60 Hz、0.2 A
定格出力：DC 5 V、1 500 mA
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約70 mm×33 mm×36 mm
（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約50 g

リチャージャブルバッテリーパックNP-BX1

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：4.5 Wh（1 240 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。Cyber-shot、“サイバーショット”、“Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK™、“Memory Stick PRO”、“メモリースティック PRO”、MEMORY STICK PRO、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“Memory Stick PRO Duo”、“メモリースティックPRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“Memory Stick PRO-HG Duo”、“メモリースティックPRO-HG デュオ”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“メモリースティック マイクロ”
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、iMovieはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、Pentium、Intel CoreはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- 「プレイステーション 3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、PSロゴ、“プレイステーション”および“PlayStation”は同社の登録商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Incの商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

- “Works with PlayStation 3”ロゴは、特定のPlayStation 3専用ソフトウェアと連携することで、さらなる楽しみを提供する製品につけるマークです。

LITHIUM ION X TYPE

その他

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

記号・数字順

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど）

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

ソフトウェアのサポート情報

http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口

フリーダイヤル……0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2511

最初のガイダンスが流れている間に下記番号＋「#」を押してください。
本機や付属品：「401」
ソフトウェア「PlayMemories Home」：「404」
受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

●修理相談窓口

フリーダイヤル……0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話……0466-31-2531

最初のガイダンスが流れている間に「401」＋「#」を押してください。
受付時間：月～金 9:00 ～ 20:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/

FAX（共通）：0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙 70% 以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

4429665020